

平成27年度実施計画策定に向けた主要事業採択結果

実施計画は、総合計画（後期基本計画）と予算事業などの関係を明確にし、財政的な裏付けを図りながら、計画的に事業実施を進めるための3か年の計画です。原則として、毎年度改定（ローリング）を行うもので、平成27年度実施計画は、平成28年度から30年度までの3年間の計画を、平成28年度予算案とあわせて策定します。

平成28年度の予算についてみると、各課の概算要求を精査してなお、大幅に財源が不足している大変厳しい状況です。このことから、本年度の実施計画の策定に向けた事業の採択にあたっては、予算編成方針で示したとおり、選択と集中による優先事業への資源配分を徹底することとします。

経営会議や各課ヒアリングなどでの検討のもと、本年度は、総合計画のリーディングプロジェクトである水土里の交流圏の構築に向けた都市基盤整備と、転入促進のための魅力の創出を最優先事業と定め、これに集中して予算などを投資します。この財源を捻出するため、その他の各事業については、廃止や休止を含め、事業の見直しを徹底して、経費の圧縮を図るものとします。

主要事業の採択結果については、以下のとおり、第5次鶴ヶ島市総合計画に掲げた5つの政策ごとに整理しました。

今後は、平成28年度予算編成や組織改編、定員管理などの作業とともに、実施計画の策定を進め、総合計画に掲げた市の将来像「鶴ヶ島は 元気にする ～明日につながる活力のまち 支えあう安心のまち～」の実現に向けた成果志向の市政運営を推進していきます。

政策1 健やかで安心できるまち

《採択主要事業》

■(新)防犯灯LED化推進事業（施策13 防犯対策の充実）

《事業内容》 既設の防犯灯全てを、長寿命で省エネルギーのLED灯に交換することにより、経費の節減とCO2の排出量の抑制を図る。

政策2 活力に満ちたまち

《採択主要事業》

■農業大学校用地活用事業（施策20 雇用の創出と就労対策の充実）

《事業内容》 圏央鶴ヶ島インターチェンジに近接する立地特性を活かした企業集積を進めるとともに、「賑わい」と「憩い」の交流空間づくりに取り組む。

■企業立地雇用等促進奨励事業（施策20 雇用の創出と就労対策の充実）

《事業内容》 企業立地の促進と地元雇用の創出を図るため、市内に一定規模の立地をする企業に対し、雇用促進及び転入促進に係る奨励金を交付する。また、定住促進を図るため、当該企業に勤務する個人に対して持家取得に係る奨励金を交付する。

政策3 快適に暮らせるまち

《採択主要事業》

■(新)運動公園整備事業（施策23 公園の整備と緑化の推進）

《事業内容》 運動施設の充実や機能補償を望む市民ニーズ等に応えるため、新たな運動施設の整備を行って、スポーツやレクリエーション、健康づくりの場を市民に提供する。

■一本松地区計画住環境整備事業（施策25 市街地整備の推進）

《事業内容》 一本松地区地区計画区域の良好な居住環境の形成を図るため、地区施設道路等の整備を行う。

■都市計画道路整備事業（施策27 道路環境の整備）

《事業内容》 埼玉県農業大学校跡地への企業集積とあわせ、必要な周辺整備を一体的に進めていくため、周辺道路（都市計画道路）の整備を行う。

政策4 人を育むまち

《採択主要事業》

■(新)多子世帯保育料軽減事業（施策36 すべての子育て家庭への支援）

《事業内容》 第3子以降の児童の保育料について、国の制度に上乘せする形で保育料を免除することにより、保護者の負担を軽減し、少子化の改善を図る。

■図書館運営事業（施策44 生涯学習・スポーツの振興）

《事業内容》 図書館に指定管理者制度を導入し、開館時間の延長など、更なる行政サービスの向上を図る。

■伝統行事を活用した地域の魅力づくり

■(新)脚折雨乞支援事業（施策45 歴史・文化の継承と芸術の振興）

《事業内容》 市指定無形文化財「脚折雨乞」を財政的・人的に支援することにより、雨乞行事を幅広く発信し、知名度の向上と郷土愛の醸成を図る。

政策5 将来を見すえた市政運営

《採択主要事業》

■借地対策(土地開発基金財産取得)事業（施策48 計画的で効率的な行財政運営の推進）

《事業内容》 「借地問題の解消に向けた基本方針」に基づき、公有地の効率的な取得を進める。